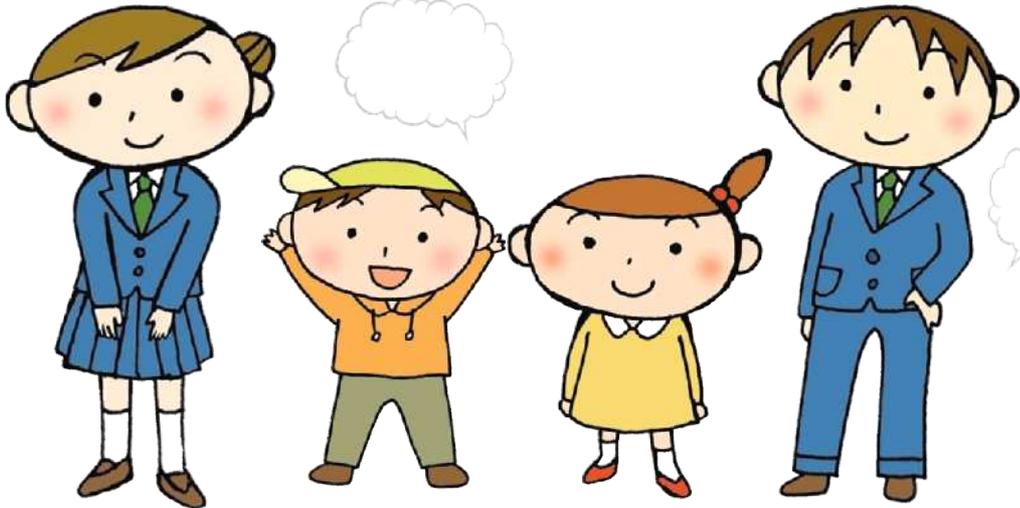


平成27年度

ティーンズミーティングの概要版

私たち子どもは、地域のことや人との
つながりについて、こんなことを考えています



子どもたちの思いや考えに耳を傾け、子どもが健やかに育つために、何が必要かを考えてみませんか

平成21年12月に制定した尼崎市子どもの育ち支援条例をもとに、尼崎市が「子どもたち1人ひとりが大切にされて、たくさんの人に支えられて育つまち」になるための取組の一つとして、子ども目線で社会はどう見えているのかなどを知り、市の行政や地域の大人の取組に活かしていくために、平成23年度より「ティーンズミーティング」を開き、小・中学生の思いや考えを聴いています。

平成27年度は、これまでに引き続き、7月上旬～8月下旬に、小・中学校9校で各1回、10人程度のグループをつくり、「つながり」をキーワードにティーンズミーティングを開催しました。小学生(5・6年生)72人、中学生28人に意見を聴きました。

テーマ1 「地域の大人力を借りて実現してみたいこと」



小学生の意見

(1) 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

地域の人と交流したい

- ・地域でお祭りや花火大会をしたい
- ・交流の機会が欲しい
- 仕事について知りたい

色んなことを学びたい

- ・尼崎に関する歴史を学びたい
- ・地震などの災害の時の対応を学びたい
- (ボランティアなど)色んな活動をしたい
- ごみのないきれいなまちにしたい

(2) どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

ポスターを貼って、交流会の呼びかけをする。
 子どもが仕事の体験をすることができるか、会社の中で話し合う。子どもが仕事の体験をできる場合は、ポスターで案内する。
 地域ボランティアが子どもに分かりやすい展示会をするなど、歴史を学べる企画を考える。「パニックにならない」という練習をするために、学校で予告なしの避難訓練を行う。
 ボイ捨てしないように、ひとりひとりが意識を高める。



子ども

友達や家族に声かけをする時に、交流会の楽しさや魅力も一緒に伝える。
 仕事の話を知ることができるか、どんな仕事を体験したいかを会社の人に伝えに行く。
 ボイ捨てしないように、大人に声をかける。

大人・子ども

人に会ったらきちんと挨拶する。花火大会の資金を集めるために、廃品回収をしたりリサイクル商品を集めて換金する。
 大人は歴史を学べるような企画をたて、大人と子どもが一緒に実施する。
 グループをつくり、お祭りへの参加や定期的にごみ拾いの活動をする。

中学生の意見

(1) 地域の大人力を借りて実現してみたいことってどんなこと？

地域の人と交流したい

- ・地域の人と交流できるイベントをしたい
- 色んなことを学びたい
- ・(お年寄りや外国人など)色んな人と年齢や立場などを気にせず話し合いたい

仕事について知りたい

- ・職場見学をして仕事の話が聞きたい、仕事の体験をしたい
- 尼崎市をよいまちにしたい
- ・尼崎市のイメージをよくしたい
- ・子ども同士でボランティア団体をつかって、地域の活性化につながるような活動をしたい



(2) どうすれば実現しやすくなると思いますか？

大人

子ども扱いせず、対等に話し合う。
 農業体験ができるように、学校の先生や自治会の人々が企画する。
 子どものボランティア団体の活動がうまくいくように、協力する。

子ども

自分から地域の人に挨拶する。
 自分の考えをしっかりと持ち、自信を持って話し合いに参加する。
 市役所の見学をしたいと申し込む。仕事の体験をする時は、中学生として恥ずかしくないように自分の行動に責任を持つ。
 子ども同士で声をかけ合って、ボランティア活動に参加する。

大人・子ども

地域の人が定期的に集まって、イベントや清掃活動をするための話し合いをする。
 話し合いをする時のマナーを守りながら、思ったことはきちんと発言する。外国人と話す機会をつくれるように、色んな人に協力を求める。
 尼崎市のよいところをPRするドラマをつかって、インターネットで配信する。

テーマ2「地域の大人に改善してもらいたいこと」

小学生の意見

(1) 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

- 自転車は交通ルール・マナーを守って欲しい
- ・駐輪マナー、危険な自転車の乗り方など
- ポイ捨てをやめて欲しい
- ・ごみやタバコの吸殻
- 子どもの見本となるような行動をして欲しい
- ・ルール・マナー、騒音、電車内での携帯電話の使い方

- 喫煙マナーを守って欲しい
- 車は交通ルール・マナーを守って欲しい
- ・路上駐車、スピードの出しすぎなど
- お酒を飲みながら歩いたり、ケンカしたりしないで欲しい
- よくないことをしている人がいたら、注意して欲しい

(2) どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

交差点など目に付くところに、交通ルール・マナーを守るように呼びかける看板を立てたり、ポスターを貼る。タバコを吸う人は携帯灰皿を持ち歩く。ポイ捨ての多い川の近くに、灰皿や監視カメラを設置する。大人は子どもの見本になっていると自覚する。タバコを吸う時は、周りの人に迷惑にならないか考える。



子ども

周りの人の迷惑にならないように、思いやりのある行動をする。
家族が歩きながらタバコを吸っていたら、注意する。

大人・子ども

家族や友達が駐輪場以外の場所に自転車をとめていたら、注意する。
事故に遭わないように、危険な場所を家族と一緒に確認する。
許可をもらって公園に、ポイ捨てしないように呼びかけるポスターを貼るなどして、地域や自然を大切にすることを高める。

中学生の意見

(1) 地域の大人に改善してもらいたいことってどんなこと？

- 子どもの見本となるような言動をして欲しい
- ・歩きながらのスマートフォン操作、夜の騒音、ルール・マナーを守る、礼儀や悪口
- ポイ捨てをやめて欲しい
- ・ごみやタバコの吸殻

- しつこく含めて子どもと向き合い、話を聞いて褒めたり叱ったりして欲しい
- みんなが安心して暮らせるまちにして欲しい
- ・道路上の安全、夜の見回り
- 自動車や自転車の運転などを見直して欲しい

(2) どうすれば改善しやすくなると思いますか？

大人

子どもの見本になっていると自覚する。車が通行してなくても、信号を守る。
夜に出歩くのは危険だと、子どもに声をかける。

子ども

きれいなまちになればごみを捨てにくいので、総合学習の時間に地域のごみ拾いをしたいと、先生に伝える。
子どもは夜に出かけるのは危険だと認識し、危険だと思ったら、友達の誘いでもきちんと断る。

大人・子ども

ごみ拾いのボランティア活動をする。
子どもがよくないことをしないように、家庭内でルールをつくる。
通行する時に危険な場所や、暗い道路を書き込んだ地域の安全マップをつくって配る。
自転車の罰則が厳しくなったことを知らない人が多いので、子どもも交通ルール・マナーを守るように、生徒会が朝礼で呼びかける。



テーマ3「子ども同士の関係を、よりよくするためにできること」



小学生の意見

(1) 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

意見が合わなくて、うまくいかなかった
誤解がきっかけで、うまくいかなかった
悪口がきっかけで、関係が悪くなった

納得いかない理由で怒られたり、叩かれたり、蹴られたりした
よく知らない人から嫌なことをされた

(2) 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・子どもの様子を気にかけて、声をかける
- ・子どもの相談に乗る
- ・子どもの話をきちんと聞く
- ・人が傷つくことを言ったりしている人がいたら、注意する

子ども

- ・困ったことや嫌なことがあれば、ためこまずに、先生や親に相談する
- ・自分が悪いと思ったら、すぐに謝る
- ・自分の意見を主張するだけでなく、相手の意見も聞く
- ・やりたいことが違う時は、時間を区切ってお互いがやりたいことをする
- ・自分が言ったことで、なぜ相手が傷ついたのかを考える
- ・自分がされて嫌なことは、人にしない
- ・悪口を言われても、気にしない
- ・意見が違う時はどうするか、決め方のルールをつくる

大人・子ども

- ・お互いきちんと話を聞いて、どうすればよいか一緒に考える
- ・大人も子どもも、お互いの意見をきちんと聞いてから意見を言う
- ・親にも先生にも相談しにくいことは、スクールカウンセラーに相談して、どうすればよいか一緒に考える

中学生の意見

(1) 子ども同士の関係が「うまくいかなかったこと」ってありますか？ その理由は何ですか？

SNSなどでコミュニケーションがうまくとれなかった
意見や価値観が合わなくて、言い合いになった
物やお金の貸し借りでもめた

大人同士だけでなく、周りの人とも関係がうまくいかなかった
家のルールや親同士の関係が理由で、子ども同士の関係がうまくいかなかった

(2) 子ども同士の関係が「うまくいかなかった」時に、どうすれば解決しやすくなると思いますか？

大人

- ・時間がかかるかも知れないが、子どもだけで解決できる場合もあるので、見守る
- ・子どもの相談には乗るが、相談を受けたことが他の人に分かるような言動はしない
- ・子どもに困っていることがないか、子どもの様子を気にかける



子ども

- ・相手の受け止め方を考えながら、家のことや自分のことを伝える
- ・悪口は、言っている人のイメージも下がるし周りの人も聞きたくないなので、当事者同士で話し合う
- ・困ったことがあった時は、1人で悩まず親に相談する
- ・人の意見も受け入れられるように、広い心を持つ

大人・子ども

- ・困った時に相談できるように、親子の関係を築いておく
- ・友達との関係がうまくいっていない人を見たら、声をかける
- ・友達との関係がうまくいっていない人がいないか、周りに気を配る

フリートーク

小学生の意見

気づいたことなど

色々な意見があること

- ・自分では考えつかない意見で、学ぶことができた
- ・みんなの意見を聞いて、納得できるものもあった
- ・色々な経験を重ねることで、色々な考え方ができると分かった

大人も子どもも、直さないといけないところがたくさんあること

尼崎市では、まちをよくするために色々な取組をしていること

明日からやってみようと思うこと

ティーンズミーティングで出した意見を意識して、実行したり自分の行動を見直したりする

注意する

交通ルール・マナーを守る

・交通ルール・マナーを守るという意識を持つ

・自転車の乗り方など、自分もできていないところを直していく相手の気持ちを考える

・友達やきょうだいの気持ちを考える

・子ども同士の関係で困ったことがあれば、親や友達に相談するごみを拾う

ティーンズミーティングで学んだことを、家族や友達に伝える友達に対して、思いやりの気持ちを持つ

中学生の意見

気づいたことなど

色々な意見があること

- ・自分と同じ考えの人がいると分かった
- ・自分とは違ったり、考えつかない意見もあると分かった
- ・自分の意見に対するみんなの意見を聞いて、納得できることもあった

友達の新しい一面

困った時に助けてくれる、家族や友達の大切さ

明日からやってみようと思うこと

自分ができることから始める

・自分達ができることもたくさんあったので、少しずつ実践する

・ごみ拾いをする、ポイ捨てしない

・子どもも直さないといけないことは、意識して直す思いやりの気持ちを持つ

・友達の気持ちを考えて、ケンカやトラブルが起きないようにする

・自分の価値観を押し付けない

ティーンズミーティングで学んだことを、家族や友達に伝える

ティーンズミーティングに参加した感想

小学生の感想

みんなと話し合いができて面白かった、意外と楽しかった

みんなの考えを知れてよかった、面白かった

自分の意見を言えてよかった

今までにない経験ができて、楽しかった

尼崎市がどんなまちになって欲しいか、自分のなかでイメージできてよかった

みんなが発言していてよかった

参加できてよかった

中学生の感想

みんなと話し合えてよかった

自然に話せる雰囲気の中で話し合えて、よかった

よい経験ができた

楽しかった

知らないことを知ったり、考えることができてよかった

子ども同士のつながりについての話し合いが、印象に残った



お知らせ

ワークショップを
実施しています！



子どもの声に耳を傾け 大人ができることを一緒に考えてみませんか？

ティーンズミーティングでの子どもの声を聴いて、「地域住民として何ができるのか？」を考えるワークショップを実施しています。

将来地域の担い手となる、今の子どもたちみんなが健やかに育つために、「今何ができるのか」を考えてみませんか。

*グループ単位で申込を受け付けています。詳しくは下記連絡先へ問い合わせ下さい。

「平成27年度ティーンズミーティング開催結果」の詳しい内容については、
尼崎市ホームページの「ティーンズミーティング開催事業」をご覧ください。

現在位置: ホーム > 市が考える尼崎 > 子ども関連施設 > 尼崎市子どもの育ち支援条例 > 条例の理念実現のための取組 > ティーンズミーティング開催事業

開催結果

平成27年度

- 平成27年度ティーンズミーティング開催結果(PDF 235.8 KB)
- 平成27年度ティーンズミーティングの概要(PDF 1368.7 KB)

尼崎市 こども青少年局 こども政策課

〒660-8501 尼崎市東七松町1丁目23番1号

電話番号 06-6489-6341

Eメール ama-kodomoseisaku@city.amagasaki.hyogo.jp

ホームページ <http://www.city.amagasaki.hyogo.jp/>